

仕事・生活の拠点 **5階建**ビル

にぎわい創出へ 延岡駅西口 街区再開発

9月下旬から本體工事 完成は 来年秋

延岡市幸町3丁目の延岡駅西口街区で進む再開発ビル整備事業について、市は、今後のスケジュールや入居者などを発表した。事業は現在、実施設計を終え、建設予定地の既存建築物の解体撤去もおおむね完了。9月下旬から本體工事に入り、来

年秋この完成を目指す。総事業費見込みは約21億円。14日まで市民の意見を募っている。

事業は、市と金融機関、企業など8者が出資・設立した「株式会社まろくくり延岡（社長・黒木清延岡商工会議所専務）が主体となり、1493平方分の敷地に延べ床面積約5800平方分の鉄骨造り・地上5階建てビルを整備。仕事と生活の拠点として駅周辺エリアの

整備は2018年度に基本設計や測量、19年度に地盤調査などを実施。同年度からスタートした既存建築物の解体撤去工事は9月上旬の終了を予定している。来年秋ごろの本體建築工事が完了後は、各入居者が内装や設備工事、備品の搬入などを行い、準備が整えば順次業務を開始する見通し。

読谷山市長は「毎日そこに行く用事がある人を増やし、その人たちに必要なサービスが提供でき

るエリアにしていきたい」と話している。ビルがその決め手として機能することにも、そのために必要なものに

旭化成など入居予定

市はさらに誘致を取り組み

ビル1階には、ケープビルメディアワイワイ、延岡信用金庫、高田万十ビル2階はIT関連企業のエッジコネクション、ま

ちのくろ延岡3階は延岡商工会館4、5階は旭化成が入居を予定。

また、市は、2階にビジネスの打ち合わせなどに利用できるコワーキングスペースを整備する。現在、入居可能フロアの92%が入居が決まっている状況で、引き続き

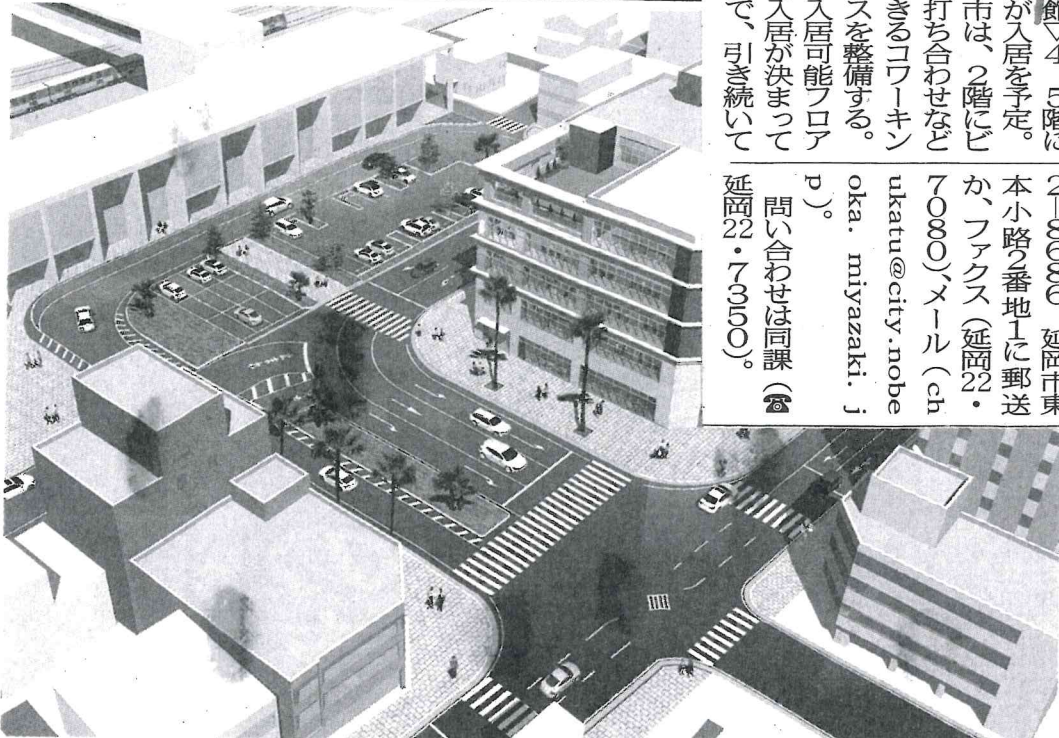
1、2階の飲食店スペース、2階のIT企業誘致床などへの誘致の取り組みを進めていくという。

14日まで市民の意見を募集

意見募集は、延岡市商

業・駅まち振興課2882-8686 延岡市東本小路2番地1に郵送か、ファクス(延岡22・7080)・メール(chukatu@city.nobe.oka.miyazaki.jp)。問い合わせは同課(延岡22・7350)。

8月 5日 (水曜日)



延岡駅西口街区再開発ビルの完成予想図